

出会いのシーンいろいろ



新年度がスタートして、3週目になりました。学校・園では、いろいろなことがスタートしていますが、学校・園運営の大切な柱の一つ「交流」の場面を二つ紹介します。

一つ目は、17日（金）に幼稚園と保育園合同で行った「はじめましての会」です。今年度初めて試みた会です。今年度、日常の園生活場面での交流が増えていくことを視野に入れ、出会いの会として設定しました。まずは、そこに集まった全員（教職員も含め）の紹介です（写真上左）。後半は、ふれ合い遊び「手と手と手と（作詞・作曲：二本松はじめ）」をみんなで楽しみました（写真上右）。終了後5歳児は早速幼保一緒に園庭で遊びました。

二つ目は、22日（水）に小学校で行った1年生を迎える会です（写真下段）。入学して2週間少々経ちましたが、全校で集まるのはこの日が初めてでした。6年生と手をつなぎ入場しました。代表委員会の5・6年生の児童の進行で会は進みました。各学年からは、学校にまつわるクイズを1年生に向けて出題をしました。今後は、休み時間の校庭遊び、たてわり班活動など、日常生活で1年生と他学年が関わる場面が増えていきます。仲よく円滑な学校生活が送れるようになっていくといいですね。

特徴的な二つの「出会い」を紹介しました。学校・園は、毎日の小さな出会いや関わりの連続です。人との出会いや関わりの中から、子どもたちは育っていきます。